

LIXIL 住宅用後付け オートロックES 取付け説明書



はじめに

このたびは、住宅用後付けオートロック ES をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取付け説明書（本書）をよくお読みになって取付け作業を行ってください。

本書では、主に安全上ご注意ください内容を [△警告]、[△注意] のアイコンで、取付け時に知っておくと便利な内容を [○お知らせ] のアイコンで表記して説明しています。

取付け完了後は、紛失しないように大切に保管してください。

◆ 取付け説明書についての質問、またはより詳しい情報が必要な場合は、ご購入サイトのお問い合わせフォームまたはお電話（0120-373-082）までご連絡ください。

なお、本書に保証書が付いています。「お買い上げ日」の分かる領収書を一緒に保管してください。お買い上げ日が分からない場合は、無償保証期間内であっても保証できない場合がありますので、ご了承ください。

- 本製品は、日本国内専用です。This product is for exclusive use in Japan.
- 本書の内容の一部、またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容、仕様、デザインは予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本体の取付け、取り外しに際して、扉に傷などがつくおそれがあります。十分ご注意のうえ作業を行ってください。
- 取り外したサムターン、サムターン固定ねじなど、ドア錠部品は元の状態に戻す際に必要になりますので、取付け説明書（本書）と一緒に大切に保管してください。

重要なお知らせ

◆ **安全のために、必ずお守りください。**

住宅用後付けオートロック ES のご使用及びお手入れは、取付け説明書（本書）に沿って行ってください。取付け説明書（本書）に従わず、乱用または誤用によるケガ及び損害が発生した場合は、株式会社 LIXIL に責任はないものとします。

ご注意

- ・ 本製品は、盗難防止装置ではありません。
- ・ 取付け説明書（本書）に記載の内容に従わずに改造などの行為を行わないでください。それにより生じた事故、故障、損害及び逸失利益などにつきましては、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

はじめに	1
重要なお知らせ	1
目次	2
1. 安全上のご注意	3
2. 付属品一覧	4
3. 取付けに必要な工具	4
4. 各部の名称	5
4-1. 本体	5
4-2. リモコン	5
5. 本体の取付けかた	6
5-1. 取付け図	6
5-2. ブラケット取付け方法	7
5-3. 本体を取付ける（解錠状態で取付け）	9
5-4. 左開きの場合	11
5-5. 本体に電池をセットする	12
6. 作動の確認	13
6-1. リモコン施錠を確認する	13
6-2. リモコン解錠を確認する	13
6-3. ブザー音の確認をする	13
6-4. オートロック時間の確認をする	13
7. リモコンの操作方法	14
8. 各種設定	15
8-1. リモコンの登録・抹消方法	16
8-2. 施錠・解錠の回転方向切替え	18
8-3. ブザー音切りスイッチの切替え	19
8-4. オートロック時間の切替え	19
9. 電池の交換方法	20
9-1. リモコンの電池交換方法	20
10. 主な仕様	22
11. 故障かな？と思ったら・・・	24
12. アフターメンテナンスについて	25
保証書	27

1. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

本製品をお取付けの際は、必ず本書をよくお読みの方え、正しくお取付けください。また、お読みになった後は、紛失しないように大切に保管してください。

本製品を取付けの際には、本書に記載の指示内容を必ずお守りください。お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を以下のように表示しています。



警告

取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。



注意

取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。



警告

- 本体を分解・改造することはおやめください。火災・感電の原因となります。また、事故や故障の原因となりますので、本書に記載されていない操作は行わないでください。
- 誤って本体やリモコンに水や液体などがかかった場合には、電池を外し乾いた布で拭き、完全に乾くまで使用しないでください。濡れたまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 本体の電池に新旧の異なる電池、メーカーや種類の異なる電池は同時に使用しないでください。発煙、発火、電池の液もれ、破裂の原因になります。
- 取り外したぬじやコイン電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、事故や傷害の原因になる場合があります。



注意

- 万が一、リモコンを紛失した場合は、直ちに錠前ごと交換し、お手持ちのすべてのリモコンを再登録し直してください。不正解錠されるおそれがあります。
- 屋外へ出る際は、必ずリモコンもしくはお手持ちの鍵（手動キー）を携帯してください。本製品はオートロック機能が「ON」の状態初期設定されています。室内からリモコンで解錠し、リモコン及びお手持ちの鍵（手動キー）を持たないまま屋外へ出た場合は一定時間経過後、扉が施錠され締め出されるおそれがあります。
- 外出の際は、必ずお手持ちのキー収納リモコンを携帯してください。万が一、本体やリモコンが故障した場合や、電池切れのときは、本体が作動せず締め出されるおそれがあります。
- 特定小電力を使用するため、心臓ペースメーカーなどをご使用の方、念のため医療機器メーカーにご相談ください。医用電子機器類に影響を与える場合があります。
- 扉を開いた際は、デッドボルトの近くに手や指を置かないでください。オートロック機能は扉が開いたままでも作動するため、オートロック時間になるとデッドボルトが飛び出し、ケガをするおそれがあります。また、扉を閉める際はデッドボルトが出ていないことを確認してください。扉や枠が破損するおそれがあります。

■ お願い

- 本体、リモコンの破損や内蔵電子部品が故障するおそれがありますので、以下の使用方法をお守りください。
 - (1) 本体やリモコンを踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。
 - (2) 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所（50℃以上）や低い場所（0℃以下）、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
 - (3) 本体に物をぶら下げたり、大きな力を加えないでください。
- 万が一、本体やリモコンが破損した場合、破損した部位によりケガをしないようにご注意ください。

■ ご使用上の注意

- 本書に従って正しい取付けをしなかった場合、施錠ができなかったり、扉が破損する場合があります。
- リモコンで施錠を行った後、施錠されていることを必ずご確認ください。サムターン作動時に動作音がありますが、異常ではありません。
- リモコンをバッグの中やポケットに入れているとき、リモコンのボタンが勝手に押されないようにご注意ください。
- 空港や電波塔の近くなど強い電波のある地域では、正常に動作しない場合があります。
- パソコンや電子レンジなどノイズを発生する可能性のある電子機器の近くでは、正常に動作しない場合があります。1m以上離して設置してください。
- 本体設置場所の電波環境によっては、電池の消耗が早い場合があります。
- 万が一、全てのリモコンを紛失した場合は、別売のリモコンを購入されても再登録はできません。本体ごと再購入が必要となりますので、ご了承ください。
- オートロックスイッチ「ON」の場合でも、サムターンを手動で解錠した時は、オートロック機能は作動しません。
- 単3アルカリ乾電池、単3リチウム乾電池以外の電池の使用は推奨致しません。電池寿命性能が極端に落ちる可能性があります。

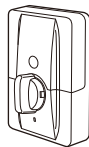
■ お手入れについて

本体外側の汚れ・ホコリは乾いたやわらかな布で拭き取ってください。特に汚れがひどい場合は、プラスチック用クリーナー・中性洗剤などで拭き取ってください。

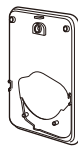
ベンジン・シンナーなどの溶剤・薬剤の使用や化学繊維でできた布の使用は絶対におやめください。

2. 付属品一覧

① 本体



② シート



③ ブラケット



④ ブラケット
固定用ねじ



⑤ 本体固定用ねじ



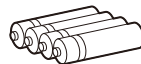
⑥ スパースー



⑦ キー収納
リモコン^{※1}



⑧ 単3形アルカリ
乾電池^{※2}



⑨ 取付け説明書
(本書)



※1：お買い上げ時は、CR2025 リチウムコイン電池が内蔵されています。

※2：寒冷地でお使いの場合は、単3形リチウム乾電池を推奨いたします。アルカリ乾電池は、0℃を下回ると極端に性能が落ちることがあります。なお、単3形リチウム乾電池は、-20℃～60℃（電池メーカーにより仕様に違いがあります）の環境でも使用可能です。

商品番号	付属品名称	数量(1ロック)	数量(2ロック)
①	本体	1	2
②	シート	1	2
③	ブラケット	1	2
④	ブラケット固定用ねじ	2	4
⑤	本体固定用ねじ	1	2
⑥	スパースー	1	2
⑦	キー収納リモコン	1～4	
⑧	単3形アルカリ乾電池	4	8
⑨	取付け説明書(本書)	1	1

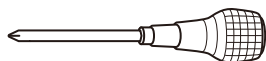
👉 お知らせ

付属の単3形アルカリ乾電池及びリモコンに内蔵のCR2025リチウムコイン電池は、作動確認用です。電池寿命が短くなる場合があります。

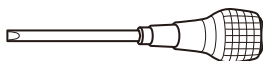
単3アルカリ乾電池、単3リチウム乾電池以外の電池の使用は推奨致しません。電池寿命性能が極端に落ちる可能性があります。

3. 取付けに必要な工具

お取付け前に、以下の工具をご準備ください。



⊕ドライバー【2番手；#2】



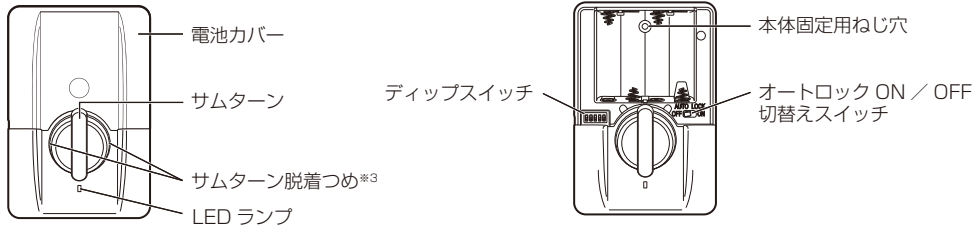
⊖ドライバー【刃幅4.5mm相当】
(ブラケット、本体取り外し用)

👉 お知らせ

サムターンの種類によっては、⊖ドライバーをご準備ください。

4. 各部の名称

4-1. 本体

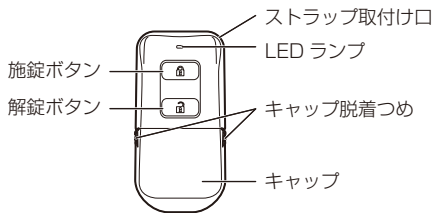


本体のLED ランプ表示は、正常時は緑色、異常時（エラー）は赤色で表示します。

※ 3：サムターンは脱着つまみを押し、本体より取り外しが可能です。強い衝撃などで外れる場合がありますが、その際は脱着つまみに破損がないか確認し、再度取付けてご使用ください。

4-2. リモコン

■キー収納リモコン



リモコンのLED ランプ表示は、正常時は緑色、電池交換を促す時は赤色で表示、お手持ちの鍵（手動キー）がセットされていない時は赤色で3回点滅します。

👉 お知らせ

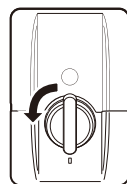
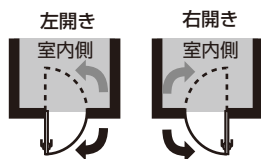
- キー収納リモコンは、お手持ちの鍵（手動キー）をセットしないと使用できません。
- キー収納リモコンに収納できるキーの厚みは 2mm ～ 3.3mm です。
- キー収納リモコンは、緊急対応の機能を有します。
- キャップは完全に取付けてください（キャップ脱着つまみがカチッというまで押し込む）。

5. 本体の取付けかた

本書をよくお読みになって、取付けを行ってください。お使いの扉が右開きか左開きかによって、取付けかたに異なる場合があります。本書をよくお読みください。
なお、本書では右開きの扉に取付けるイラストで説明しています。

■扉の開き方向の呼びかた

本書では扉の開き方向を右記のように定義して説明します。お使いの扉が「右開き」か「左開き」のどちらか確認ください。



.....は室内側に開く扉のタイプ お買い上げ時の設定 (右開き用) を表しています。

👉お知らせ

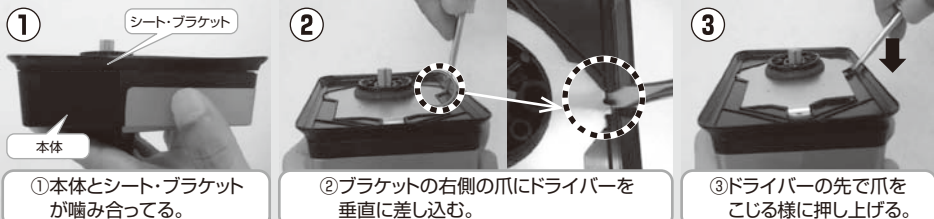
- ・本製品のお買い上げ時は、「右開き」方向（施錠ボタン押下時、左回転）の設定になっています。
- ・扉に取付ける前に、本体へ単3電池をセットし、リモコン操作をしないようにしてください。
- ・左開きの場合は、本体取付け後、サムターンの向きを変える必要があります。同時にサムターン回転方向の設定も変えてください (5-4 参照)。

サムターンを2本のM5ねじで固定しています。

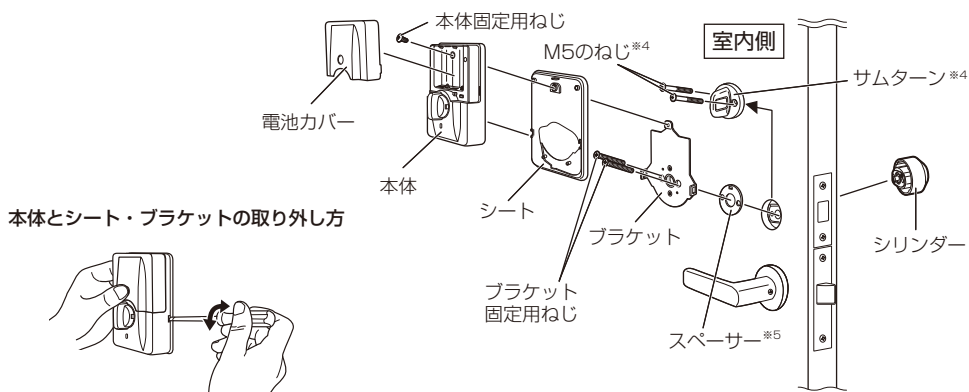
各部品の取り扱いには十分ご注意ください。落下等で部品の破損、変形が発生すると取付けられなくなる場合があります。

化粧箱から本体を取り出した際、本体とシート・ブラケットが噛み合っている場合は、ドライバーで取り外してください。

【化粧箱から本体を取り出した際 本体とシート・ブラケットが噛み合っている場合の外し方】
(ブラケットを外す際は無理をせず、ケガに十分注意してください)



5-1. 取付け図



※4：お使いの扉に組みつけてあるサムターンを取り外し、本製品を取付けます。取り外したサムターンとM5のねじは大切に保管してください。

※5：お使いの錠前によって、スペーサーは不要になる場合があります。

5-2. ブラケット取付け方法

スペーサーをセットするか判断していただく必要があります。

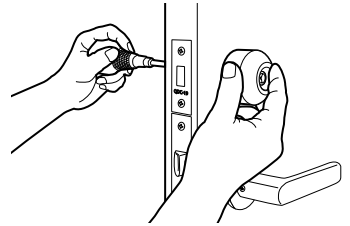
取付け作業の前に、ブラケット、ブラケット固定用ねじ、スペーサーをお手元にご用意ください。

⚠ 取付け上の注意

- ・ シリンダーを押さえながらドライバーを使う作業になりますので、シリンダーを落下させたり、ねじを紛失しないように十分注意して取付け作業を行ってください。
- ・ ブラケットを固定する際、固定用ねじで締め付けすぎないように十分ご注意ください。締め付けすぎると扉面がゆがみ、正常に作動しない場合があります。

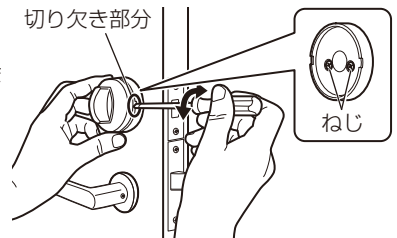
1 シリンダーを押さえながらサムターンのねじ（2箇所）を外す

必ずシリンダーを押さえながら作業してください。ねじを外した際にシリンダーが落下することがあります。



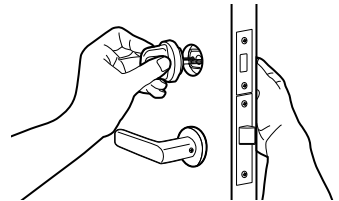
■ ねじが隠れている扉のタイプの場合

ねじが隠れている扉のタイプの場合は、カバー側面の切り欠き部分に⊖ドライバーを挿し、ひねってカバーを外します。その後、⊕ドライバーでねじを外してください。



2 サムターンを取り外す

シリンダーを押さえながらサムターンを取り外してください。取り外したねじとサムターンは、元に戻す際に必要です。大切に保管してください。



3 スペーサー取付けについて

スペーサーをセットするか判断していただくため、以下の手順で確認します。

① シリンダーを取り外す

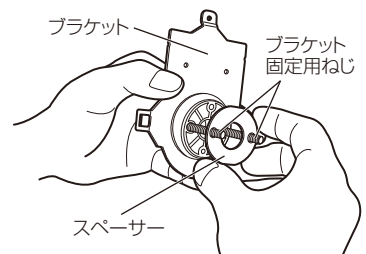
※シリンダーを取り外す際、シリンダーの上下を区別する刻印などがなくないか確認ください。

② ブラケットにブラケット固定用ねじを通す。

③ ブラケット固定用ねじにスペーサーを通す。

④ 手順2で取り外したサムターンの箇所にブラケットをセットし、ブラケットと扉の間に隙間ができないか確認する。

※ブラケットを扉に押し付け、隙間ができる場合は、スペーサーをセットする必要はありません。



5. 本体の取付けかた (つづき)

⑥ 室外側からシリンダーをセットし、落下しないように押さえる

※ シリンダーの上下にご注意いただき、セットしてください。

※ シリンダーのねじ穴とブラケットのねじ貫通穴が合っているか確認ください。

4) ブラケットを取付ける

手順2で取り外したサムターンの箇所にブラケットをセットし、ブラケット固定用ねじで固定してください。

※ ブラケットを取付ける扉の箇所に異物等がないか確認し、取付けてください。

※ 電動ドライバーは、使用しないでください。ねじを締めすぎて扉面がゆがむおそれがあります。

※ シリンダーを押さえながらドライバーを使う作業になりますので、シリンダーを落下させないようにご注意ください。

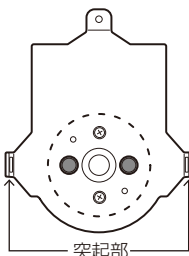
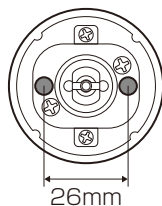
※ 取り外したサムターンを固定していたねじは、ブラケット取付けには使用できません。必ず付属品のブラケット固定用ねじを使用してください。

※ ブラケット固定用ねじを締め付けすぎると、扉面がゆがみ正常に作動しないことがあります。シリンダーのガタツキがなくなったら、締め付けをおやめください。

※ 室外側のシリンダーの取付けが、上下反対になっていないかご注意ください。



シリンダーのねじ穴とブラケットのねじ貫通穴を合わせてから、固定用ねじでブラケットを固定してください。



(ねじ挿入側)
スポンジ・黒いカラーが付いていない側

お知らせ

ブラケットは、上向きでも下向きでも取付けることができます。お使いの扉に応じて、上向きか下向きかを選択してください。

5-3. 本体を取付ける（解錠状態で取付け）

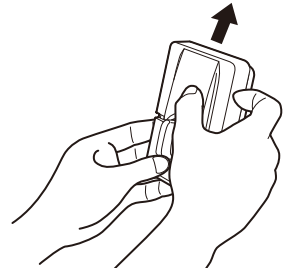
取付けたブラケットに本体をセットし、本体固定用ねじを使って本体を固定します。

⚠ 取付け上の注意

本体を固定する際は、解錠状態（扉のデッドボルトが出ていない状態）で行ってください。

1 本体の電池カバーを取り外す

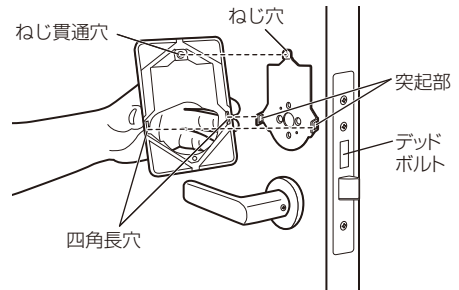
右図のように、矢印の方向にスライドさせて電池カバーを取り外してください。



2 ブラケットにシートをセットする

シートの溝がある方を扉面に向けて、ブラケットの突起部とシートの四角長穴、ブラケットのねじ穴とシートのねじ貫通穴が合うようにシートをセットしてください。

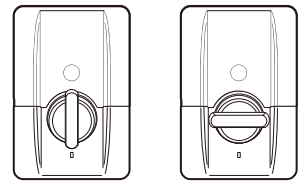
※デッドボルトが出ていない状態で行ってください。



3 本体を取付ける前に、本体のサムターンを、右開きの場合は垂直状態、左開きの場合は水平状態にする

※サムターンの位置が逆になっていると、取付け後にサムターンが回りませんので、ご注意ください。

取付け前のサムターン位置



右開き

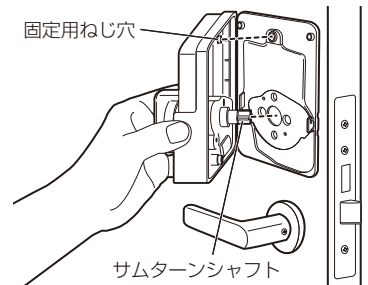
左開き

4 本体とブラケットを手で仮固定する

右図のように、本体の固定用ねじ穴とブラケットのねじ穴、サムターンシャフトの2箇所を合わせ、手で仮固定してください。

👍 お知らせ

サムターンシャフトとシリンダーがうまくかみ合わない場合は、軽くサムターンを左右に回すと、かみ合うようになります。



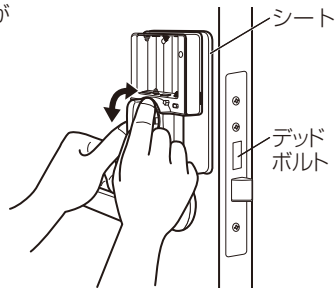
5. 本体の取付けかた (つづき)

5 仮固定状態で本体のサムターンを回し、デッドボルトの動作確認を行う

仮固定状態のまま本体のサムターンを回し、扉のデッドボルトがスムーズに出入りするか確認ください。

👉 お知らせ

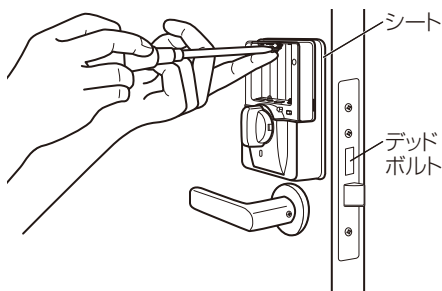
- 仮固定状態でサムターンが回らない場合は、サムターンシャフトの角度がずれています。一度本体を取り外し、サムターンシャフトを90度回転させてから再度取付けてください。
 - ブラケットの取付け時、固定用ねじを締め付けすぎているとサムターンが回らない、もしくは固くなる場合があります。この場合は、ブラケットの取付けからやり直してください。
 - サムターンが回らない、もしくは固くなる原因に、中途どまり状態^{※6}でリモコン操作をされた可能性が考えられます。この場合は、シリンダーにお手持ちの鍵(手動キー)を挿し、施解錠を行ってください。
- ※6：中途どまり状態とは、サムターンの位置が垂直、水平の位置以外で停止している状態のことです。



6 本体を固定する

デッドボルトの作動確認ができれば、本体固定用ねじで本体をブラケットに固定します。

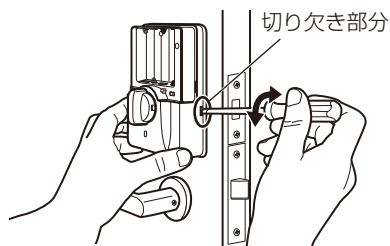
※シートと本体に隙間がないか、またはシートがめくれているか注意して、取付けてください。



■ 本体を外す場合

本体固定用ねじを外し、本体側面の切り欠き部分(左右いずれか)に⊖ドライバーを挿して、ひねると本体が外れます。

※本体を外す際は、片手で本体を持ち、本体が落下しないようご注意ください。



右開きの場合、取付け作業は完了です。「5-5. 本体に電池をセットする」へ進んでください。
左開きの場合は次の作業を行って、「5-5. 本体に電池をセットする」へ進んでください。

【ドアに取付いた本体の外し方】

(外す際は無理をせず、ケガに十分注意してください)

1



① 本体の端に指をかけ手前に引っ張る。

2



② 切り欠き部分にマイナスドライバーを差し込む。

3



③ 差し込んだドライバーの先を上にもわしる様にまわし本体を外す。

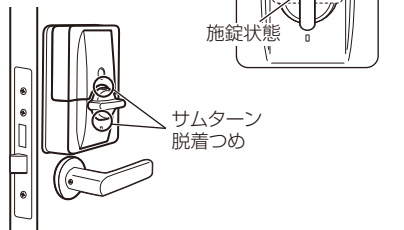
5-4. 左開きの場合

本製品は、お買い上げ時の設定が「右開き」になっています。「左開き」の場合は取付け後、右図の施錠状態・解錠状態の位置が反対になりますので、サムターンの向きを変える必要があります。同時に、サムターン回転方向の設定も変えてください。

※「左開き」の場合は、本体取付け時のサムターンの位置は水平となります(5-3参照)。

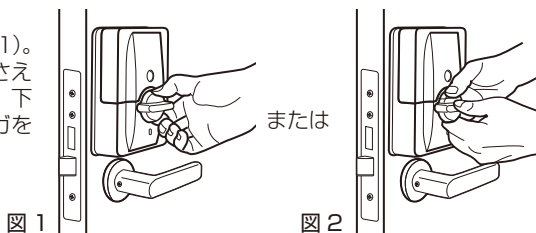
以下の手順で、サムターンの向きとサムターン回転方向の設定を変えてください。

- ① デッドボルトが出ていない状態にする
- ② サムターン脱着つめ(右図)をつまんで取り外す



サムターンの外し方

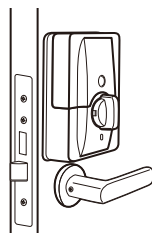
親指と人指し指で脱着つめをつまんで外す(図1)。または、サムターンを親指で軽く下向きに押さえ保持し、片方の親指で脱着つめを押しながら、下向に力を入れてゆっくりと外す(図2)。ケガをしないように十分注意して行ってください。



- ③ 取り外したサムターンを90度回転させて、再度取付ける。

- ④ ディップスイッチの4番を「ON」にして、サムターン回転方向を変える。

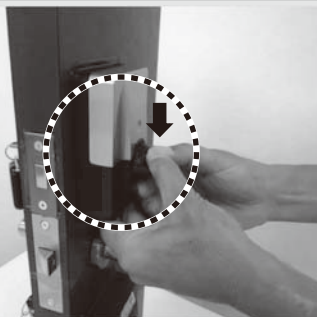
詳細は、『8-2. 施錠・解錠の回転方向切替え』をご参照ください。



【サムターンの外し方…押して外す方法の説明】

(サムターンを外す際は無理をせず、ケガに十分注意してください)

①

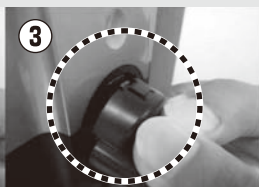


- ① 水平になっているサムターンを両手親指で押さえる。
- ② 両親指で押さえたままゆっくり力を入れながら下方向に押して行きます。
- ③ 少しずつ力を増して押すと脱着つめが外れます。

②



③



5. 本体の取付けかた（つづき）

5-5. 本体に電池をセットする

本体は、単3形アルカリ乾電池を4本使用します。

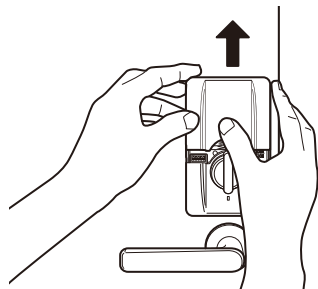
寒冷地でお使いいただく場合は、単3形リチウム乾電池の使用を推奨いたします。

単3アルカリ乾電池、単3リチウム乾電池以外の電池の使用は推奨致しません。電池寿命性能が極端に落ちる可能性がございます

※乾電池を交換する際は、ケガなどされない様にご注意ください。

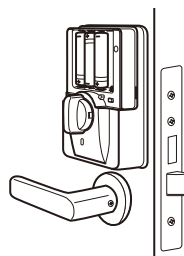
1 電池カバーを取り外す

電池カバーを矢印の方向にスライドさせ、電池カバーを取り外します。



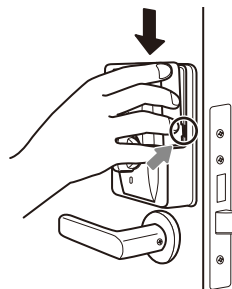
2 電池をセットする

電池の(+) (-) 極にご注意いただき、4本の乾電池をセットしてください。



3 電池カバーを取付ける

電池カバー手前の突起部分を本体の溝に合わせ、スライドさせて取付けます。
電池セット後は正常に作動するか確認ください。



警告

新旧の異なる電池、メーカーや種類の異なる電池は、同時に使用しないでください。発煙、発火、電池の液もれ、破裂の原因になります。

お知らせ

- 電池が消耗すると、リモコン操作時、オートロック作動時に電池交換を促す警告音（ピーピーピー）が毎回鳴り、本体のLEDランプが赤く点滅します。すべての電池を新しいものに交換してください。さらに使い続けると、作動しなくなり警告音（ビッ×10回）が鳴ります。
- 本体の電池寿命は、1日10回使用した場合、約1年を目安としてください。本体の使用頻度、使用環境、電池の性能により1年未満で電池の交換時期をお知らせすることがあります。
- 1つの扉に本体2つ（2ロック）をつけて使用される場合、電池交換は本体2つ（8本）同時に行ってください。

6. 作動の確認

作動の設定は、ディップスイッチとオートロック ON / OFF 切替えスイッチで行います。設定方法の詳細は、『8. 各種設定』をご覧ください。

お知らせ

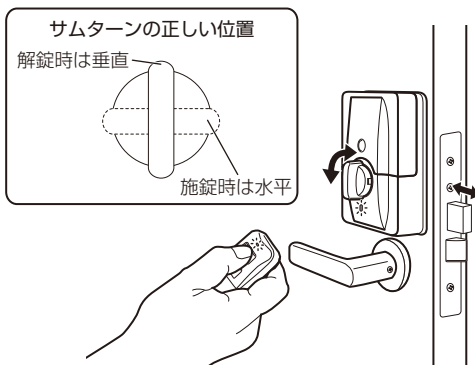
- ・ 作動の確認は、作動範囲内（扉から約 3 m）及び動作状況が確認できるところで行ってください。
- ・ キー収納リモコンのは、お手持ちの鍵（手動キー）をセットしないと使用できません。

6-1. リモコン施錠を確認する

扉を開いた状態でリモコンの施錠ボタンを押し、施錠状態になるか確認ください。

施錠動作をする際は、本体のブザー（ピッ）が鳴り^{※7}、本体・リモコンのLEDランプが緑色に点灯します。

※デッドボルトが飛び出す際に、ケガなどしないようにご注意ください。



お知らせ

リモコンでの施錠が作動しない場合は、以下のことを確認ください。

- ・ 本体の電池は (+) (-) 極が逆にセットされていないか
- ・ 本体の取付け時、サムターンの位置が右開き、左開きの設定で逆になっていなかったか
- ・ サムターン回転方向の設定は間違えていないか
- ・ サムターンの位置が垂直、水平の正しい位置以外で停止していないか
- ・ ブラケットの取付け時、ブラケット固定用ねじを締めすぎているか

6-2. リモコン解錠を確認する

扉を開いた状態でリモコンの解錠ボタンを押し、解錠状態になるか確認ください。

解錠動作をする際は、本体のブザー（ピッピッ）が鳴り^{※7}、本体・リモコンのLEDランプが緑色に点滅します。

6-3. ブザー音の確認をする

ブザー音切りスイッチが「OFF」の設定になっている場合は、リモコンでの解錠・施錠動作の時とオートロック機能が働く時に本体のブザーが鳴ります。

本体のブザーを鳴らす必要がない場合は、ブザー音切りスイッチを「ON」に設定し直してください。ブザー音は、施錠の際「ピッ」、解錠の際「ピッピッ」と鳴ります。

お知らせ

- ・ 電池交換を促す警告音（ピーピーピー）は、ブザー音切りスイッチが「ON」、「OFF」にかかわらず鳴ります。
- ・ ブザー音切りスイッチは、ディップスイッチの3番を操作してください。

6-4. オートロック時間の確認をする

オートロック ON / OFF 切替えスイッチが「ON」の場合、リモコンで解錠すると一定時間後自動的に施錠されます。手動でサムターンを解錠した場合はオートロック機能ははたしません。

施錠までの時間（オートロック時間）が、お客さまのお好みの設定か確認ください。オートロック時間は、20 秒と 10 秒のどちらかをお選びになります。

オートロック ON / OFF 切替えスイッチは、お買い上げ時「ON」で、オートロック時間は 20 秒に設定されています。

※7：ブザー音切りスイッチが「ON」に設定されている場合、本体のブザーは鳴りません。

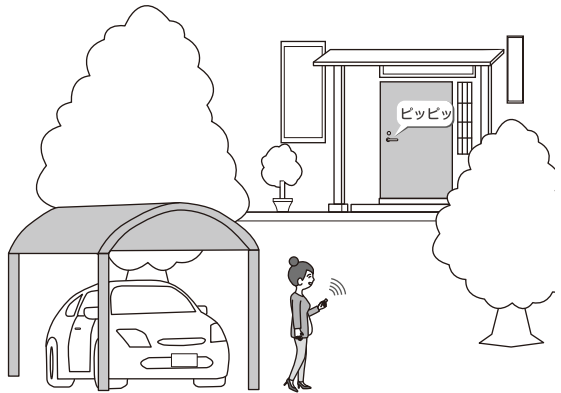
7. リモコンの操作方法

■ 施錠方法

操作範囲内でリモコンの施錠ボタンを押すと、本体のブザー（ピッ）が鳴り^{※8}、本体・リモコンのLEDランプが緑色に点灯し、施錠されます。

■ 解錠方法

操作範囲内でリモコンの解錠ボタンを押すと、本体のブザー（ピッピッ）が鳴り^{※8}、本体・リモコンのLEDランプが緑色に点滅し、解錠されます。



※8：ブザー音切りスイッチ（P.13）が「ON」の場合は、本体のブザーは鳴りません。

👉 お知らせ

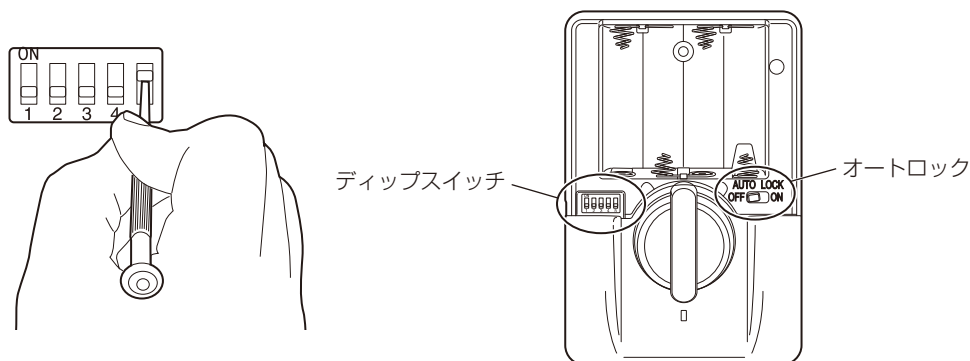
- ・ キー収納リモコンの場合、お手持ちの鍵（手動キー）をセットしないと使用できません。
- ・ キー収納リモコンに手動キーをセットすることで、万が一、本体、リモコンの電池が切れた場合でも、手動キーを使用して施錠することができます。
- ・ リモコン操作を行う際は、2秒以上間隔を空けて行ってください。連続して操作を行うと正常に作動しません。
- ・ 本製品の取付け状態が悪いと、リモコンの施錠・解錠ボタンを押した際、信号は受信しても作動せず、警告音（ピッ×10回）が鳴る場合があります。ブラケットの取付けの際、ブラケット固定用ねじの締め付けすぎで扉にゆがみがないか、フロントプレートにデッドボルトが当たっていないかなど取付けに問題がなかったか確認ください。
- ・ 警告音が鳴ったときは、正常に作動せず、施錠の状態が元に戻っている可能性があります。
- ・ リモコンで施錠の際、サムターンに触ったり、扉にもたれたりしないでください。サムターンが途中で止まる原因となります。
- ・ 1つの扉に錠が2つあるタイプに使用される場合、本製品2つを1つのリモコンで操作することができます（P.18参照）。リモコンでの施錠の際、本製品2つの作動にずれが生じることがありますので、作動終了後に扉を開けるようにしてください。

8. 各種設定

リモコンの追加登録・抹消、サムターン回転方向の変更、ブザー音の切り設定、オートロック作動までの時間設定をディップスイッチで行います。また、オートロック機能をオートロック ON / OFF 切替えスイッチで設定します。

■ディップスイッチとオートロック ON / OFF 切替えスイッチ

本体の電池カバーを取り外すと、ディップスイッチとオートロック ON / OFF 切替えスイッチがあります。



👉 お知らせ

ディップスイッチの ON / OFF 及びオートロックの ON / OFF 切替えは、先の細いピンなどを使用すると簡単に行うことができます。

■ディップスイッチ設定

ディップスイッチでの設定項目と、お買い上げ時の設定は以下の通りです。お使いの扉の開く方向や、ブザー音の切り設定など、お使いの扉やお好みに合わせて設定を変更してください。

No.	名称	ON / OFF 時の作動	お買い上げ時の状態
5	リモコン登録・抹消スイッチ	ON : 登録・抹消時 OFF : 運用時	OFF : 運用時 (付属品のリモコンは登録済み)
4	回転方向切替えスイッチ	ON : 右回転 (左開き) OFF : 左回転 (右開き)	OFF : 左回転 (右開き)
3	ブザー音切りスイッチ	ON : ブザー音なし OFF : ブザー音あり	OFF : ブザー音あり
2	オートロック時間設定スイッチ	ON : 20 秒 OFF : 10 秒	ON : 20 秒
1	未使用	—	—

👉 お知らせ

オートロック機能のお買い上げ時の状態は、ON (作動する) になっています。手動でサムターンを解錠した場合はオートロック機能は、はたらきません。

8. 各種設定 (つづき)

8-1. リモコンの登録・抹消方法

お買い上げ時、付属品のリモコンは登録済みです。そのまま使用することができます。リモコンの登録を行うと、すでに登録済みのリモコンが抹消され使用できなくなり、新たに登録したリモコンのみ使用できるようになります。

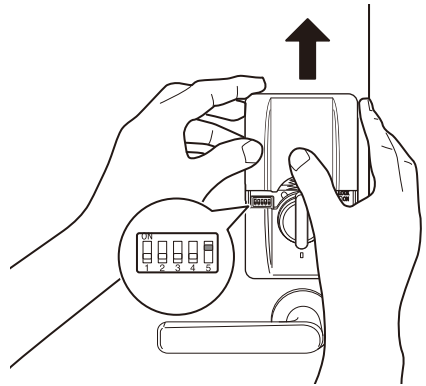
登録する場合は、ディップスイッチの5番を「ON」にしてから30秒以内に登録操作を開始してください。登録時間をオーバーすると、LEDランプが赤く点灯し、本体のブザー（ピッ×10回）が鳴ります。その後も操作をしないときは、LEDランプが赤く点滅し、エラー状態となります。ディップスイッチの5番を「OFF」に戻し、最初からやり直してください。

👉 お知らせ

キー収納リモコンは、お手持ちの鍵（手動キー）をセットしないと登録できません。セット後、施錠／解錠どちらかのボタンを押し、LEDランプが緑色に点灯することを確認ください。

1 本体の電池カバーを取り外し、ディップスイッチの5番を「ON」にする

本体のブザー（ピッピッ）が鳴り、登録可能な状態になります。30秒以内に登録操作を開始してください。

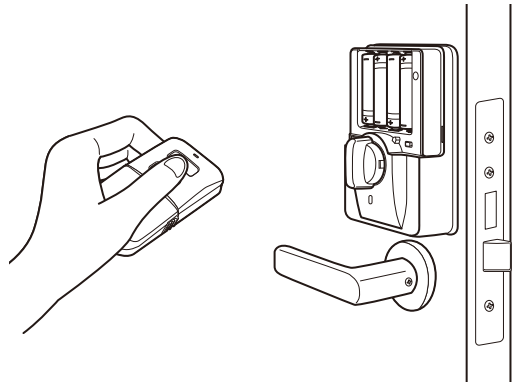


2 最初に登録済みリモコンの施錠 (🔒) / 解錠 (🔓) どちらかのボタンを押し、次にその他使用中のリモコン及び新しいリモコンのボタンを押す

登録順番は、初めに既に登録済みのリモコン、次に新しく購入されたリモコンの順で登録してください。リモコンが本体に登録されると、本体のブザー（ピッ）が鳴ります。

※複数のリモコンを登録する場合は、30秒以内の間隔で1個ずつボタンを押し、登録操作を繰り返してください。

※新しく購入されたリモコンから登録するとエラーになります。



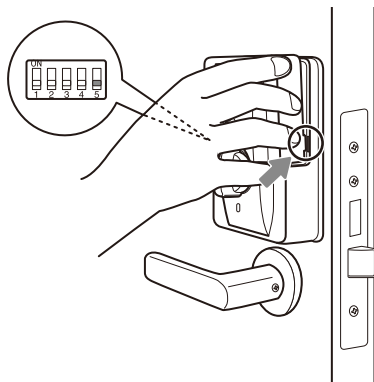
3 すべてのリモコンの登録操作が完了したら、ディップスイッチの5番を「OFF」に戻し、電池カバーを取付ける

ディップスイッチの5番を「OFF」にすると、本体のブザー（ビー）が鳴り、その後、登録したリモコンの個数分のブザー（ピッ）が鳴り登録完了となります。

※登録したリモコンの個数分のブザー（ピッ）と、登録したリモコンの個数が一致しなかった場合は、直ちに再登録してください。

※登録が完了したら、登録したすべてのリモコンが作動するか確認ください。

電池カバーは、電池カバー手前の突起部分を本体の溝に合わせ、しっかりと取付けます。



お知らせ

リモコンは最大8個まで登録できます。

注意

- 万が一、キー収納リモコンを紛失した場合は、直ちに錠前ごと交換し、お手持ちのすべてのリモコンを再登録し直してください。不正解錠されるおそれがあります。

お願い

- 万が一、全てのリモコンを紛失した場合は、別売のリモコンを購入されても再登録はできません。本体ごと再購入が必要となりますので、ご了承ください。

8. 各種設定 (つづき)

1つの扉に本体を2つ取付けた(2ロック)場合、1つのリモコンで2つの本体を施解錠するためのリモコンの登録方法について説明します。

「8-1. リモコンの登録・抹消方法」(P.16)を参照いただき、以下の手順で登録を行ってください。

※キー収納リモコンは、お手持ちの鍵(手動キー)をセットしないと登録できません。

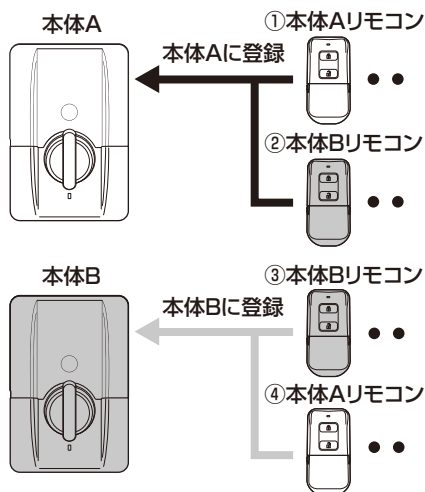
- ①本体Aに付属されているリモコンを本体Aに再登録する
(3個以上ご利用になる場合は同じように登録します)
- ②本体Bに付属されているリモコンを本体Aに新規登録する
(3個以上ご利用になる場合は同じように登録します)

これで本体Aへの登録が完了です。

- ③本体Bに付属されているリモコンを本体Bに再登録する
(3個以上ご利用になる場合は同じように登録します)
- ④本体Aに付属されているリモコンを本体Bに新規登録する
(3個以上ご利用になる場合は同じように登録します)

これで本体Bへの登録が完了し、本体2つへの登録が完了となります。

1つのリモコンで2つの本体を作動させることができます。(この場合、施解錠の作動にずれが生じることがあります。)



8-2. 施錠・解錠の回転方向切替え

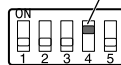
扉の開く方向(P.6)、錠の種類によって回転方向に違いがあります。

ディップスイッチの4番で施錠、解錠の回転方向を切替えます。

左開きの場合は、「ON」にしてください。

解錠状態からリモコンの施錠ボタンを押すと、サムターンが回転し、施錠され本体のブザー(ピッ)が鳴ります。*9

左開きの場合



お知らせ

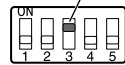
設定された回転方向が間違っている場合、リモコンの施錠・解錠のボタンを押したときに本体は逆の作動になります。ディップスイッチ4番の「ON」と「OFF」を切替えて、再度確認ください。

※9：ブザー音切りスイッチが「ON」の場合は、本体のブザーは鳴りません。

8-3. ブザー音切りスイッチの切替え

リモコンでの施錠動作時とオートロック機能が働くときに、ブザー音を鳴らすか、鳴らさないかを設定します。ディップスイッチの3番でブザー音の「ON」(ブザー音なし)、「OFF」(ブザー音あり)を切替えます。

ブザー音なしの場合



お知らせ

- ブザー音は本体からのみ鳴り、リモコンからは鳴りません。
- リモコンの登録・抹消時、電池消耗時、エラー発生時は、「ON」「OFF」の設定にかかわらず本体のブザーが鳴ります。
- ブザー音、LED ランプ色のパターンについては、本体ブザー音、LED ランプ色一覧表 (P.23) を参照ください。

8-4. オートロック時間の切替え

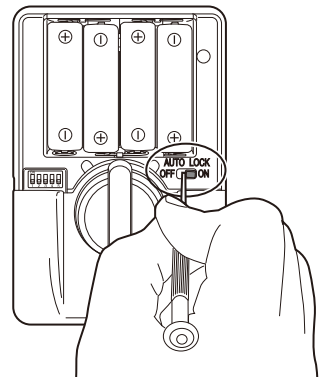
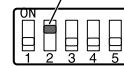
ディップスイッチの2番でオートロックが作動するまでの時間(オートロック時間)を切替えます。

「ON」に設定すると20秒後、「OFF」に設定すると10秒後に自動施錠されます。

ただし、オートロック ON / OFF 切替えスイッチが「ON」の状態、リモコンで解錠した場合に限り自動施錠されます。

お買い上げ時、オートロック ON / OFF 切替えスイッチの設定は「ON」で、オートロック時間は20秒になっています。

20秒後に施錠の場合



注意

- 屋外へ出る際は、必ずリモコンもしくは手動キーを携帯してください。オートロック機能が「ON」になっているときに室内からリモコンで解錠し、リモコン及びお手持ちの鍵(手動キー)を持たないまま屋外へ出た場合は一定時間経過後(10秒または20秒)、扉が施錠され締め出されるおそれがあります。
- 扉を開いた際は、デッドボルトの近くに手や指を置かないでください。オートロック機能は扉が開いたままでも作動するため、オートロック時間になるとデッドボルトが飛び出し、ケガをするおそれがあります。また、扉を閉める際はデッドボルトが出ていないことを確認してください。扉や枠が破損するおそれがあります。

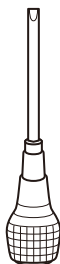
お願い

- オートロックスイッチ「ON」時にオートロック機能を使用したくない場合はサムターンを手動で解錠すると、オートロック機能は作動しません。

9. 電池の交換方法

リモコンの電池交換前には、以下の工具をご準備ください。

- キー収納リモコン用



⊖ドライバー
(刃幅 4.5mm、刃厚 0.6mm)

9-1. リモコンの電池交換方法

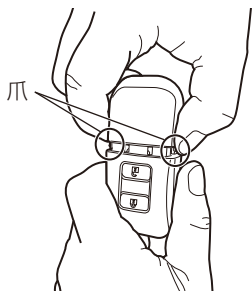
リモコンは、CR2025 リチウムコイン電池 1 個を使用します。
お買い上げ時、リモコンには CR2025 リチウムコイン電池を内蔵しています。

※電池を交換する際は、ケガなどされない様にご注意ください。

① リモコンカバーからインナーコンブを外す

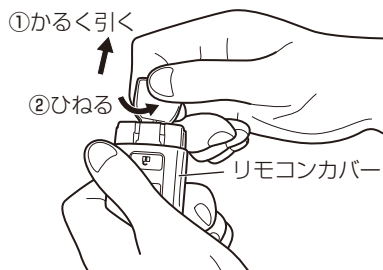
■ キー収納リモコンの場合

キャップ左右の爪を同時に押えて、キャップを取り外します。



キーをかるく引き、ひねってリモコンカバーを取り外してから、インナーコンブを外します。

※電池交換以外でのリモコンカバーの取り外しはおやめください。

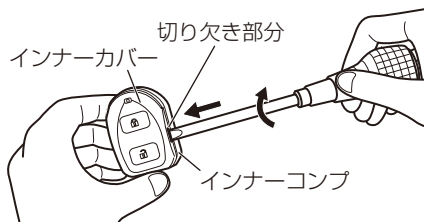


② インナーコンブからインナーカバーを取り外す

インナーカバーの切り欠き部分に⊖ドライバーを押し当て、⊖ドライバーを回しながらインナーカバーを取り外します。

※⊖ドライバーの取り扱い時、ケガなどされない様にご注意ください。

※電池交換以外でのインナーカバーの取り外しはおやめください。



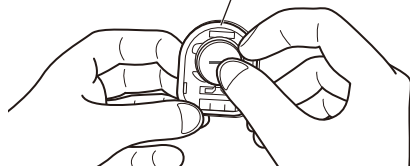
3 電池を交換する

電池の(－)極が上になります。電池の(＋)(－)極にご注意いただき、交換してください。

※インナーケースの中にゴミや液体が入らないようにご注意ください。

※電極の端子を変形させないようにご注意ください。

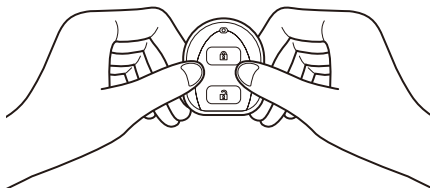
インナーケース



4 インナーカバーを取付ける

インナーケースにインナーカバーをセットし、インナーカバーを両手の親指で押しながらインナーケースに取付けます。

※シールラバー（半透明のゴム状のもの）がはみ出さないように注意しながら、確実に取付けてください。

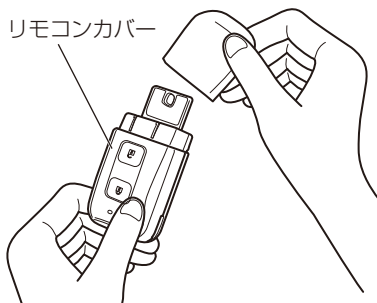


5 リモコンカバーにインナーコンプを取付ける

キー収納リモコンは、お手持ちの鍵（手動キー）をセットしキャップを取付けます。

キャップは完全に取付けてください（キャップ脱着つめがカチッというまで押し込む）。

リモコンカバー



警告

- 取り外したねじやコイン電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、事故や傷害の原因になる場合があります。

お知らせ

- 電池が消耗すると、リモコンのLEDランプが緑色から赤色に変わり、電池交換を促します。電池を新しいものに交換してください。
- リモコンの電池寿命は、1日10回使用した場合、約2年を目安としてください。リモコンの使用頻度、使用環境、電池の性能により2年未満で電池の交換時期をお知らせすることがあります。

10. 主な仕様

■ 型式

1511L58

■ 作動範囲

作動距離	約 3m
------	------

※ 上記の作動範囲は、遮へい物がない場合の作動距離です。電波状況、使用環境などにより作動距離は変化することがあります。3m 以内から最大で約 15m 程度まで作動する場合があります。

※ 上記の作動範囲は目安であり、保証するものではありません。

※ 室内でも作動しますので、取扱いにはご注意ください。

■ 電源、その他

主電源	本体：単 3 形アルカリ乾電池 × 4 本 (寒冷地でご使用の場合は、単 3 形リチウム乾電池の使用を推奨) リモコン：CR2025 リチウムコイン電池 × 1 個
搬送周波数	315MHz

■ 電池寿命

単 3 形アルカリ乾電池：4 個	約 1 年
CR2025 リチウムコイン電池：1 個	約 2 年

※ 電池寿命は、使用頻度や使用環境により早めに交換時期をお知らせすることがあります。

※ 寒冷地でお使いの場合は、単 3 形リチウム乾電池の使用を推奨いたします。アルカリ乾電池は、0℃を下回ると極端に性能が落ちることがあります。(P.4 「2. 付属品一覧」の※ 2 を参照)

■ 使用条件

温度環境	0℃～50℃ (アルカリ乾電池) / -20℃～60℃ (リチウム乾電池)
屋内	一般住宅用

👉 お知らせ

使用環境により電波が届きにくくなる場合があります。リモコンのボタン操作は、施錠状態を確認できる距離で行ってください。

■ 本体ブザー音、LED ランプ色一覧表

リモコン操作時

操作	ブザー音	LED ランプ色
施錠ボタンを押す	ピッ	緑色
解錠ボタンを押す	ピッピッ	緑色

ディップスイッチ操作

操作	ブザー音	LED ランプ色
ディップスイッチの 5 番を ON にする (リモコンの登録・抹消)	ピッピッ	緑色
登録するリモコンの施錠(解錠) ボタンを押す	ピッ	緑色
ディップスイッチの 5 番を OFF にする (リモコンの登録・抹消の完了)	ピー ピッ×登録個数*10	緑色

※ 10：登録したリモコンの個数分ブザー音(ピッ)が鳴ります。

警告音

警告内容	ブザー音	LED ランプ色
電池交換を促す警告音	ピーピーピー	赤色
電池切れを知らせる警告音	ピッ×10回	赤色
リモコン登録時間(30秒)オーバー警告音	ピッ×10回	赤色
施錠(解錠)の信号は受信したがサムターンが正常に回転しない	ピッ×10回	赤色

■ リモコン LED ランプ色一覧表

操作	内容	LED ランプ色
施錠／解錠ボタンを押す	正常に作動	緑色
	電池交換を促す時	赤色
	キー収納リモコンの場合、お手持ちの鍵(手動キー)がセットされていない時	赤色で3回点滅

■ 防犯性能の表示

平成 15 年法律第 65 号 第 7 条 指定建物錠の防犯性能の表示		サムターン
事 項	性 能	
耐サムターン回し性能	なし (5分未満)	あり (5分以上)
備考		

防 犯 性 能 表 示 の 解 説

耐サムターン回し性能	ドアにあけた穴からサムターン回しを差し込み、サムターン(つまみ)を回転させる方法による解錠を防ぐ性能
------------	--

11. 故障かな？と思ったら・・・

リモコンでの施錠・解錠が正常に作動しない、オートロック機能が作動しない、サムターンが固くて手で回しにくいなどの問題が発生した場合は、以下の原因が考えられます。確認いただきご対応ください。それでも異常がある場合は、使用を中止して、お問い合わせください。(P.1)

電池の (+) (-) 極が逆にセットされていませんか？	すべての電池が正しくセットされているか確認ください。 ⇒ 電池の交換方法 P.12 参照
電池が消耗していませんか？	消耗した電池を使用していると、作動しなかったり、電池の液もれ、破裂の原因となります。新しい電池と交換してください。 ⇒ 電池の交換方法 P.12 参照
電池の種類などは正しいですか？	新旧の異なる電池、メーカーや種類の異なる電池は同時に使用しないでください。混ざっている場合は速やかに交換してください。 ⇒ 電池の交換方法 P.12 参照
リモコンは登録されていますか？	リモコンを追加で購入された際は、リモコンの登録を行ってください。登録済みだったリモコンを含め、すべて再登録する必要があります。 ⇒ リモコンの登録・抹消方法 P.16 参照
使用環境は問題ありませんか？	周囲の温度が、0℃以下または 50℃以上の場合、本体及びリモコンが作動しないことがあります。お手持ちの鍵(手動キー) やサムターンで施解錠してください。寒冷地でお使いの場合は、 単 3 形リチウム乾電池 を推奨いたします。アルカリ乾電池は、0℃を下回ると極端に性能が落ちることがあります。なお、 単 3 形リチウム乾電池 は、- 20℃～ 60℃ (電池メーカーにより仕様に違いがあります) の環境でも使用可能です。
結露はしていませんか？	高湿度の環境下では、本体及びリモコンの機能が低下する可能性があります。電池を抜き取り、乾いた布でよく拭き乾燥した状態で使用してください。 ⇒ 電池の交換方法 P.12 参照
リモコンを連続して施錠・解錠操作していませんか？	リモコン操作を行う際は、2 秒以上間隔を空けて行ってください。連続して操作を行うと正常に作動しません。
作動範囲外でリモコンのボタンを複数回押していませんか？	本体の作動範囲内で、リモコンのボタンを 2 秒以上間隔を空けて連続 5 回押し、本体に受信させてください。
サムターンの中途どまり状態時にリモコンでの操作をしていませんか？	サムターンの位置が垂直、水平の正しい位置以外で停止しているとき、リモコンで操作しても異常音 (ピッ× 10 回) が鳴り、サムターンが作動しない場合があります。室内から手でサムターンを回すか、お手持ちの鍵 (手動キー) を挿し、サムターンを正しい位置に戻して、リモコンで操作してください。

保証書について

保証書は、お買い上げ日の分かる領収書を一緒に保管いただき、保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内の場合は、保証規定に基づいて修理致します。本体及びリモコン、乾電池など一式と保証書をそろえ、ご購入サイト（P.1）へご連絡お願い致します。返送先のご住所など必要事項をご案内させていただきます。

保証期間経過後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有料で修理いたします。

なお、修理・検査をしますと、登録されているリモコンのデータは抹消されますので、再登録が必要です。また、修理のとき、一部代替部品を使わせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

